

中小企業景況調査報告書

2020年度第2・四半期（7～9月）



目次

調査の要領	1
今期の概況	2
景況に対するコメント	3
景況の推移（全業種）前年同期比	4
景況の推移（繊維製造業）前年同期比	4
業種別集計表・新規設備投資集計表（全業種 99社）	5
業種別集計表・新規設備投資集計表（繊維製造業 48社）	6
景況の推移（全業種）業種別集計表 前期比	7
景況の推移（繊維製造業）業種別集計表 前期比	8
「直面している経営上の問題点」の集計表（全業種上位3位）	9
「直面している経営上の問題点」の集計表（各業種）	10～12
前年同期比のグラフ（全業種・各項目）	13～16

The Ichinomiya Chamber of Commerce & Industry

一宮商工会議所 中小企業相談所

調 査 の 要 領

- I. 調査対象期間 調査対象期間は、「4～6月」「7～9月」「10～12月」「1～3月」の四半期毎とする。
- II. 調査実施時期 調査実施時期は、「4～6月」「7～9月」「1～3月」については目安として各四半期二月目の25日から末月の1日とし、末月の1日時点で調査する。また、「10～12月」については、目安として11月10日から15日とし、15日時点で調査する。
- III. 調査の実施
(方法) 調査は、日本商工会議所の調査様式を用いて調査実施時期に、原則として経営指導員が企業を訪問し、面接・聴き取りにより行う。
- IV. 調査対象企業数 99事業所。

- V. 調査対象企業 次の表のとおり
の業種

(1) 景況調査対象事業所 (99) の内訳

業 種	事業所数
建設業	7
製造業	60
(繊維製造業)	(48)
(その他製造業)	(12)
卸売業	11
小売業	11
サービス業	10
合 計	99

(2) 繊維製造業対象事業所 (48) の内訳

業 種	事業所数
撚糸業	6
織物製造業	22
染色整理加工業	9
縫製加工業	3
そ の 他	8
合 計	48

- VI. 分析 方法
1. D I (Diffusion Index) 分析
「増加」「好転」したとする企業割合から、「減少」「悪化」したとする企業割合を差し引いた値
 2. D I 分析は、「前年同期」及び「前期」との比較である。

- VII. 分析 項目
1. 前年同期比
(1)業況 (2)売上 (3)採算 (4)資金繰り (5)従業員
 2. 前 期 比
(1)業況 (2)売上 (3)資金繰り

- VIII. その他の分析
1. 設備投資 実施状況数
 2. 経営上の問題点 各項目をポイント加算

}	1位3ポイント
	2位2ポイント
	3位1ポイント

今 期 の 概 況

9

景況感は大幅悪化から改善するものの低水準 見通し依然厳しく

1. 前年同期比D I 値の分析

今期(表1、3参照)は、業況、売上、資金繰りのDI値で前期実績を上回り、採算、従業員のDI値で前期実績を下回った。

来期は、業況、売上、採算、従業員のDI値で今期実績を上回り、資金繰りのDI値で今期実績を下回る見通し。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲71.4から▲70.7(0.7ポイント増)となり、来期は▲64.6(6.1ポイント増)となる見通し。
- 売上DI値は、前期実績▲70.4から▲69.7(0.7ポイント増)となり、来期は▲68.7(1.0ポイント増)となる見通し。
- 採算DI値は、前期実績▲63.3から▲67.7(4.4ポイント減)となり、来期は▲61.6(6.1ポイント増)となる見通し。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲44.9から▲27.3(17.6ポイント増)となり、来期は▲31.3(4.0ポイント減)となる見通し。
- 従業員DI値は、前期実績▲6.1から▲12.1(6.0ポイント減)となり、来期は▲5.1(7.0ポイント増)となる見通し。

繊維製造業の状況

- 今期(表2、5参照)は、業況、資金繰り、従業員のDI値で前期実績を上回り、売上のDI値で前期実績を下回った。
- 来期は、業況、売上、採算、従業員のDI値で今期実績を上回り、資金繰りのDI値で今期実績を下回る見通し。

2. 前期比D I 値の分析

今期(表7、8参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を上回った。

指標別の状況

- 業況DI値は、前期実績▲72.4から▲48.5(23.9ポイント増)となった。
- 売上DI値は、前期実績▲59.2から▲47.5(11.7ポイント増)となった。
- 資金繰りDI値は、前期実績▲39.8から▲23.2(16.6ポイント増)となった。

繊維製造業の状況

- 今期(表9、10参照)は、業況、売上、資金繰りすべてのDI値で前期実績を上回った。

3. 設備投資の動向

今期の設備投資は、前回調査値(32件、21事業所)に比べ、件数、事業所数ともに増加している。

- ① 今期の実績(表4、6参照)は36件(29事業所)。その主な内訳は、『生産設備』11件、『OA機器』7件、『車両・運搬具』6件となっている。
- ② 来期の計画(表4、6参照)は20件(13事業所)。その主な内訳(予定)は、『OA機器』8件、『生産設備』『付帯設備』各3件となっている。

4. 直面している経営上の問題点

業種別の直面している経営上の問題点(表11参照)は、多くの業種で経営上の問題点の上位に『需要の停滞』、『販売等単価の低下・上昇難』、『ニーズの変化への対応』を挙げている。

業 況 レ ポ ー ト

今期については次のようなコメントをいただきました。

A社（繊維卸〈原糸・テキスタイル販売〉）

新型コロナウイルスの影響で、3月から5月に小売店が休業していたため、商品が全く売れていない。恐らく、来年の春物の生産は低調な状況が続く可能性が高いと考えている。社内では席の間隔をとり、在宅勤務も実施している。

B社（繊維製造業〈インテリア製造〉）

大手ハウジングメーカー等の動きに同調し、秋口以降に受注数の減少が見込まれる。外出を控え、ネット販売・購入が主になることで、提案を必要とする高額商品が売れず、低価格が主流になっている。リモート会議を一部、実施している。

C社（製造業〈水産・農業等資材〉）

新型コロナウイルスの影響による飲食店の営業自粛等に伴い、漁師は魚が獲れても値が付かない状況であるため、資材の動きも悪くなっている。3月から8月現在も出張を自粛しているが、営業を主体としているため売上げへの影響が心配される。

D社（建設業〈屋根工事〉）

4月から6月までは大きな受注減少は無かったが、逆に元請会社が受注難となっている。業界ではリモートによる工程会議などがまだ浸透しておらず、打合せ等も出来ないため9月以降は厳しい状況を迎えるのではと考えている。

E社（製造業〈食品製造〉）

外食・中食産業への売り上げは減少するも、量販店の売り上げが増加。8月現在、原料となる野菜が高騰しており、これが収益を圧迫する原因となっている。営業活動については出張の自粛、電話またはリモートでの商談を実施している。

F社（卸売業〈食品加工機械卸〉）

新型コロナウイルスの影響を受けている飲食店等は、設備投資を行う事が難しい状況であり、当社にとっても影響は大きい。商談についてはリモートで行う機会が増加したが、設備の故障等については現場に出向く必要があるため、マスクや防護服の着用など最善の感染対策を講じている。

G社（サービス業〈OA機器等の保守〉）

SNSやオンライン広告を活用しての集客支援サービスを行っているが、SNS運用については売り上げが減少。一方で、補助金制度の活用もあってかオンライン広告を活用しての集客支援については好調で、問い合わせも増えてきている。

景況の推移（全業種99事業所）

表 1

～ 前年同期比～

	R1. 7～9月	R1. 10～12月	R2. 1～3月	R2. 4～6月	今 期 R2. 7～9月	来期の見通し R2. 10～12月
業 況	▲33.0	▲35.0	▲36.0	▲71.4	▲70.7	▲64.6
売 上	▲25.0	▲39.0	▲34.0	▲70.4	▲69.7	▲68.7
採 算	▲28.0	▲35.0	▲37.0	▲63.3	▲67.7	▲61.6
資金繰り	▲12.0	▲11.0	▲20.0	▲44.9	▲27.3	▲31.3
従 業 員	▲ 2.0	▲ 1.0	▲11.0	▲ 6.1	▲12.1	▲ 5.1

景況の推移（繊維製造業48事業所）

表 2

～ 前年同期比～

	R1. 7～9月	R1. 10～12月	R2. 1～3月	R2. 4～6月	今 期 R2. 7～9月	来期の見通し R2. 10～12月
業 況	▲53.1	▲59.2	▲55.1	▲83.3	▲77.1	▲64.6
売 上	▲44.9	▲55.1	▲49.0	▲79.2	▲83.3	▲70.8
採 算	▲46.9	▲49.0	▲44.9	▲66.7	▲72.9	▲62.5
資金繰り	▲18.4	▲18.4	▲32.7	▲58.3	▲39.6	▲43.8
従 業 員	2.0	▲ 6.1	▲ 6.1	▲10.4	▲ 2.1	6.3

業種別集計表 (全業種99事業所)

～ 前年同期比 ～

表 3

	事業所数	7	60	11	11	10	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業況	好転	0 (0)	4 (4)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	6 (4)	▲ 70.7 (▲64.6)
	不変	4 (3)	7 (13)	1 (0)	2 (7)	3 (4)	17 (27)	
	悪化	3 (4)	49 (43)	10 (11)	7 (4)	7 (6)	76 (68)	
売上	増加	0 (0)	5 (5)	0 (0)	4 (3)	1 (0)	10 (8)	▲ 69.7 (▲68.7)
	不変	4 (2)	3 (7)	1 (0)	1 (2)	1 (4)	10 (15)	
	減少	3 (5)	52 (48)	10 (11)	6 (6)	8 (6)	79 (76)	
採算	好転	0 (0)	5 (5)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (5)	▲ 67.7 (▲61.6)
	不変	3 (3)	8 (13)	1 (1)	5 (7)	3 (4)	20 (28)	
	悪化	4 (4)	47 (42)	10 (10)	5 (4)	7 (6)	73 (66)	
資金繰り	好転	0 (0)	4 (3)	0 (0)	1 (1)	1 (0)	6 (4)	▲ 27.3 (▲31.3)
	不変	7 (7)	31 (27)	10 (9)	6 (9)	6 (8)	60 (60)	
	悪化	0 (0)	25 (30)	1 (2)	4 (1)	3 (2)	33 (35)	
従業員	増加	0 (0)	4 (5)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (5)	▲ 12.1 (▲5.1)
	不変	7 (7)	50 (51)	10 (10)	8 (9)	4 (7)	79 (84)	
	減少	0 (0)	6 (4)	1 (1)	3 (2)	6 (3)	16 (10)	

※ 採算は経常利益で判断

※ ()内は来期

新規設備投資集計表 (全業種99事業所)

表 4

設備投資	今期	実施した ※1	29	来期	計画している ※2	13
	(事業所数)	実施していない	70	(事業所数)	計画していない	86

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	3 件	3 件
2. 工場建物	3 件	2 件	6. O A 機器	7 件	8 件
3. 生産設備	11 件	3 件	7. 福利厚生施設	4 件	1 件
4. 車両・運搬具	6 件	1 件	8. その他	2 件	2 件
			合計	36 件	20 件

複数回答可

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

～ 前年同期比 ～

表 5

	事業所数	6	22	9	3	8	48	D I
		燃糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業況	好転	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (0)	3 (3)	▲ 77.1 (▲64.6)
	不変	0 (0)	2 (5)	1 (1)	1 (1)	1 (4)	5 (11)	
	悪化	4 (4)	20 (17)	8 (8)	2 (1)	6 (4)	40 (34)	
売上	増加	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	1 (1)	3 (4)	▲ 83.3 (▲70.8)
	不変	0 (0)	0 (2)	1 (1)	0 (1)	1 (2)	2 (6)	
	減少	4 (4)	22 (20)	8 (8)	3 (1)	6 (5)	43 (38)	
採算	好転	2 (2)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (2)	4 (4)	▲ 72.9 (▲62.5)
	不変	0 (0)	1 (3)	4 (4)	0 (2)	0 (1)	5 (10)	
	悪化	4 (4)	21 (19)	5 (5)	3 (1)	6 (5)	39 (34)	
資金繰り	好転	1 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	2 (2)	▲ 39.6 (▲43.8)
	不変	3 (3)	11 (9)	4 (3)	2 (2)	5 (6)	25 (23)	
	悪化	2 (2)	11 (13)	5 (6)	1 (1)	2 (1)	21 (23)	
従業員	増加	1 (1)	2 (2)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	3 (5)	▲ 2.1 (6.3)
	不変	5 (5)	18 (19)	8 (7)	2 (2)	8 (8)	41 (41)	
	減少	0 (0)	2 (1)	1 (0)	1 (1)	0 (0)	4 (2)	

※ 採算は経常利益で判断

新規設備投資集計表 (繊維製造業48事業所)

表 6

設備投資	今期	実施した ※1	12	来期	計画している ※2	8
	(事業所数)	実施していない	36	(事業所数)	計画していない	40

	※1	※2		※1	※2
1. 土地	0 件	0 件	5. 付帯施設	1 件	2 件
2. 工場建物	2 件	2 件	6. O A 機器	4 件	4 件
3. 生産設備	6 件	3 件	7. 福利厚生施設	0 件	0 件
4. 車両・運搬具	2 件	0 件	8. その他	1 件	1 件
			合計	16 件	12 件

複数回答可

景況の推移 (全業種99事業所)

表 7

～ 前期比 ～

	R1.7～9月	R1.10～12月	R2.1～3月	R2.4～6月	今 期 R2.7～9月
業 況	▲25.0	▲25.0	▲30.0	▲72.4	▲48.5
売 上	▲17.0	▲20.0	▲41.0	▲59.2	▲47.5
資金繰り	▲12.0	▲ 8.0	▲20.0	▲39.8	▲23.2

業種別集計表 (全業種99事業所)

表 8

～ 前期比 ～

	事業所数	7	60	11	11	10	99	D I
		建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	合計	
業 況	好 転	0	4	0	2	1	7	▲ 48.5
	不 変	5	19	5	4	4	37	
	悪 化	2	37	6	5	5	55	
売 上	増 加	0	6	0	2	2	10	▲ 47.5
	不 変	5	14	6	5	2	32	
	減 少	2	40	5	4	6	57	
資 金 繰 り	好 転	0	2	0	1	1	4	▲ 23.2
	不 変	7	37	10	7	7	68	
	悪 化	0	21	1	3	2	27	

景況の推移 (全業種48事業所)

表 9

～ 前期比 ～

	R1.7～9月	R1.10～12月	R2.1～3月	R2.4～6月	今 期 R2.7～9月
業 況	▲36.7	▲42.9	▲40.8	▲77.1	▲56.3
売 上	▲28.6	▲44.9	▲46.9	▲62.5	▲56.3
資金繰り	▲18.4	▲16.3	▲26.5	▲54.2	▲31.3

業種別集計表 (繊維製造業48事業所)

表 10

～ 前期比 ～

	事業所数	6	22	9	3	8	48	D I
		擦糸加工	織物製造	染色整理	縫製加工	その他	合計	
業 況	好 転	2	0	0	0	1	3	▲ 56.3
	不 変	0	8	3	1	3	15	
	悪 化	4	14	6	2	4	30	
売 上	増 加	1	1	0	1	2	5	▲ 56.3
	不 変	0	6	2	0	3	11	
	減 少	5	15	7	2	3	32	
資 金 繰 り	好 転	1	0	0	0	1	2	▲ 31.3
	不 変	3	13	5	2	6	29	
	悪 化	2	9	4	1	1	17	

『直面している経営上の問題点』の集計表

表 11

(全業種上位3位)

業 種 順位	内 容		
	1 位	2 位	3 位
建設業	○民間需要の停滞	○請負単価の低下・ 上昇難 ○従業員の確保難	○官公需要の停滞
繊維製造業	○需要の停滞	○製品ニーズの 変化への対応	○人件費の増加
製造業 (繊維製造業は除く)	○需要の停滞	○人件費の増加	○従業員の確保難
卸売業	○需要の停滞	○販売単価の低下・ 上昇難	○人件費以外の 経費の増加
小売業	○販売単価の低下・ 上昇難	○需要の停滞	○仕入単価の上昇
サービス業	○需要の停滞	○利用者ニーズの 変化への対応	○人件費の増加 ○従業員の確保難

『直面している経営上の問題点』の集計表

建設業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	3
材料価格の上昇	0
材料の入手難	0
人件費の増加	0
材料費・人件費以外の経費の増加	0
請負単価の低下・上昇難	7
下請単価の上昇	0
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	7
熟練技術者の確保難	0
下請業者の確保難	2
官公需要の停滞	6
民間需要の停滞	15
その他	0
合 計	41

繊維製造業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	7
新規参入業者の増加	1
製品ニーズの変化への対応	28
生産設備の不足・老朽化	21
生産設備の過剰	0
原材料価格の上昇	4
原材料の不足	3
人件費の増加	23
原材料費・人件費以外の経費の増加	2
製品(加工)単価の低下・上昇難	20
金利負担の増加	1
取引条件の悪化	7
事業資金の借入難	5
従業員の確保難	4
熟練技術者の確保難	16
需要の停滞	97
その他 (コロナウイルスで停滞している消費が上がらない、不透明感、コロナ禍 売上減、取引先の減少)	19
合 計	258

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

製 造 業 (繊維製造業は除く)

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	2
製品ニーズの変化への対応	5
生産設備の不足・老朽化	5
生産設備の過剰	2
原材料価格の上昇	3
原材料の不足	2
人件費の増加	10
原材料費・人件費以外の経費の増加	3
製品(加工)単価の低下・上昇難	5
金利負担の増加	0
取引条件の悪化	1
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
熟練技術者の確保難	3
需要の停滞	18
その他 (取引先の倒産、未収金の回収)	4
合 計	69

卸 売 業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
メーカーの進出による競争の激化	0
小売業の進出による競争の激化	3
新規参入業者の増加	3
店舗・倉庫の狭隘・老朽化	0
商品在庫の過剰	4
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	5
販売単価の低下・上昇難	6
仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	2
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	0
需要の停滞	25
その他 (コロナ)	3
合 計	53

※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

『直面している経営上の問題点』の集計表

小売業

内 容	ポイント
大型店・中型店の進出による競争の激化	6
同業者の進出	0
購買力の他地域への流出	6
消費者ニーズの変化への対応	6
店舗の狭隘・老朽化	1
駐車場の確保難	0
商品在庫の過剰	0
人件費の増加	0
人件費以外の経費の増加	2
販売単価の低下・上昇難	11
仕入単価の上昇	7
金利負担の増加	0
代金回収の悪化	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	6
需要の停滞	8
その他 (ネット販売)	3
合 計	56

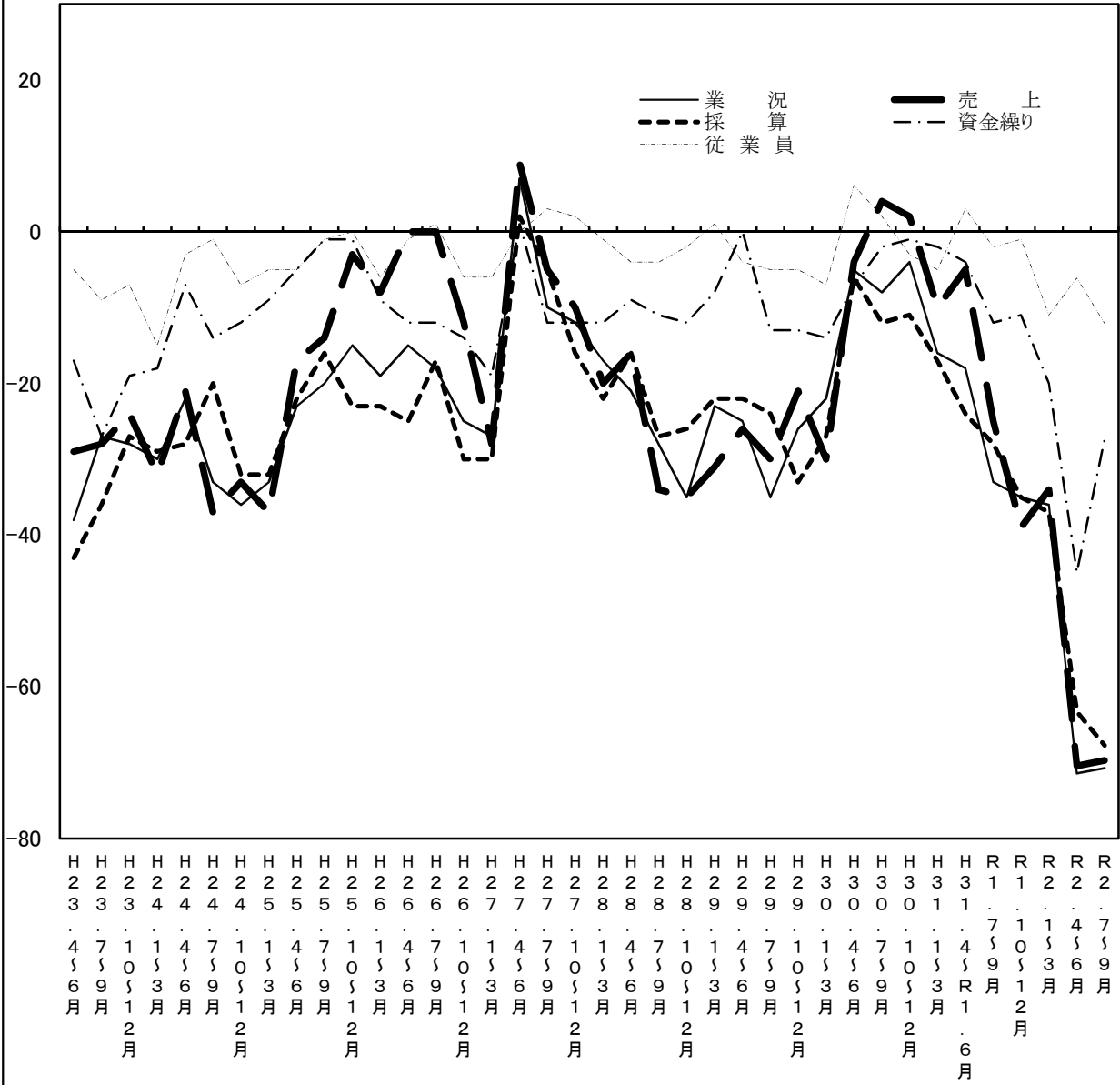
サービス業

内 容	ポイント
大企業の進出による競争の激化	0
新規参入業者の増加	0
利用者ニーズの変化への対応	12
店舗施設の狭隘・老朽化	4
人件費の増加	8
人件費以外の経費の増加	0
利用料金の低下・上昇難	5
材料等仕入単価の上昇	2
金利負担の増加	0
事業資金の借入難	0
従業員の確保難	8
熟練技術者の確保難	0
需要の停滞	14
その他	0
合 計	53

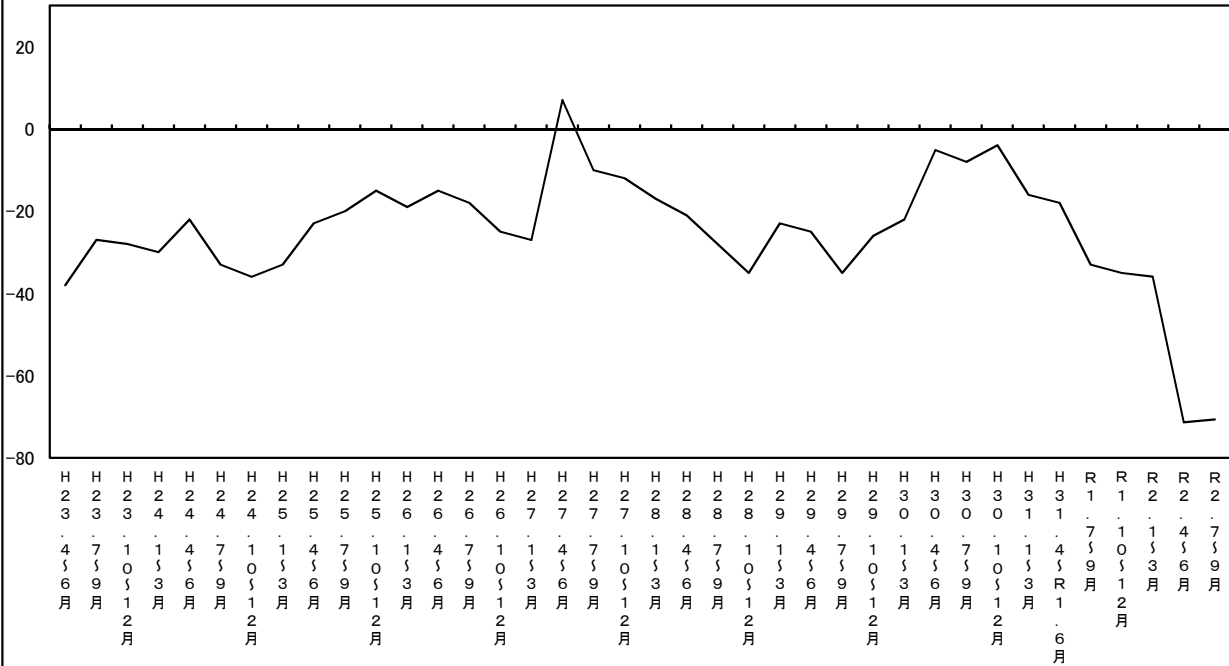
※ 1位 … … 3ポイント
 2位 … … 2ポイント
 3位 … … 1ポイント

図 1

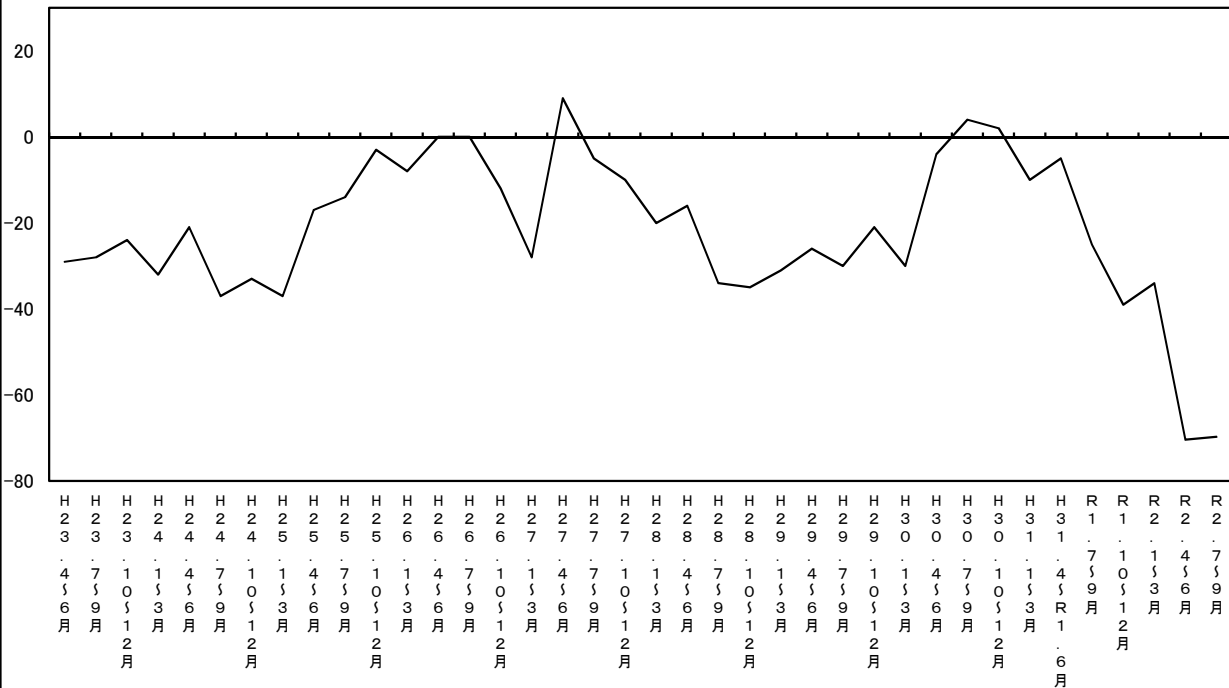
景況 DI (全業種) - 前年同期比 -



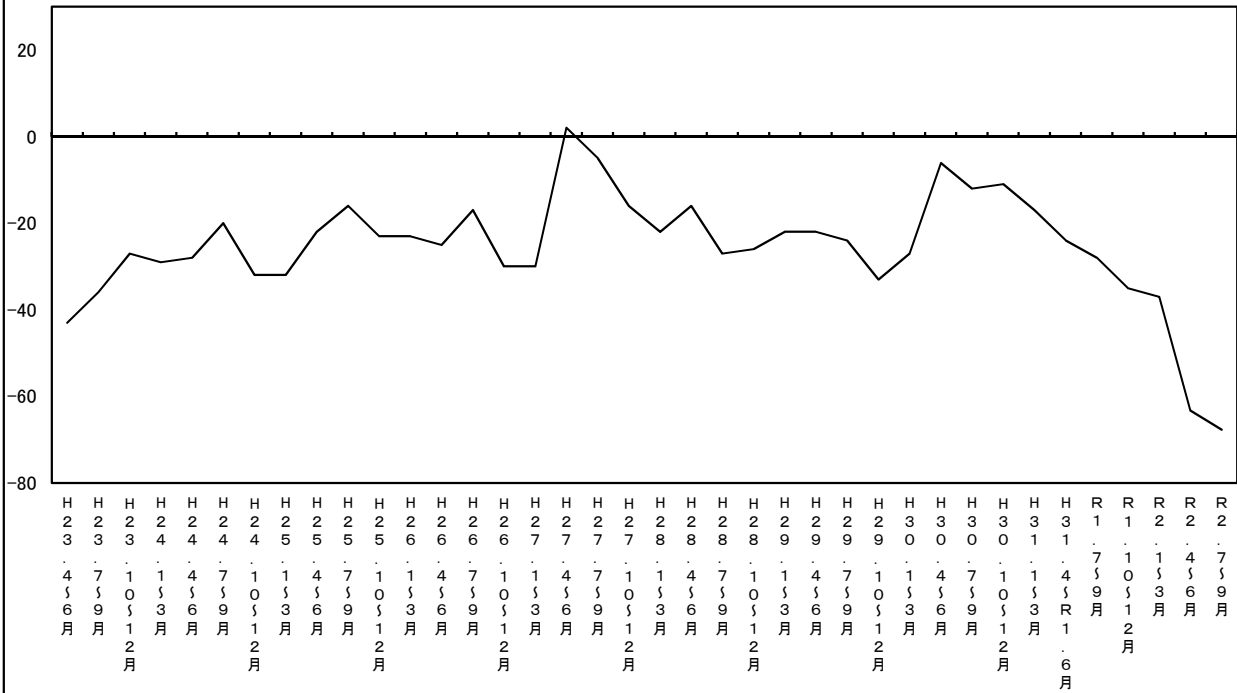
業 況 DI -前年同期比-



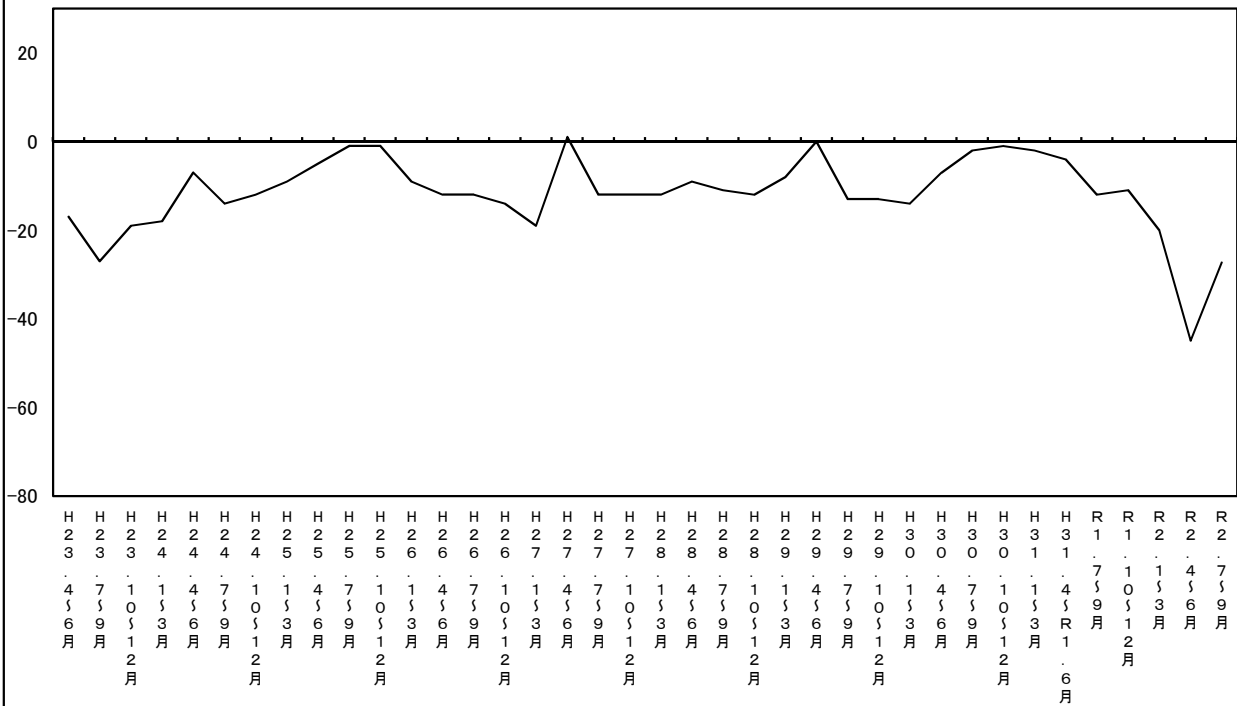
売 上 DI -前年同期比-



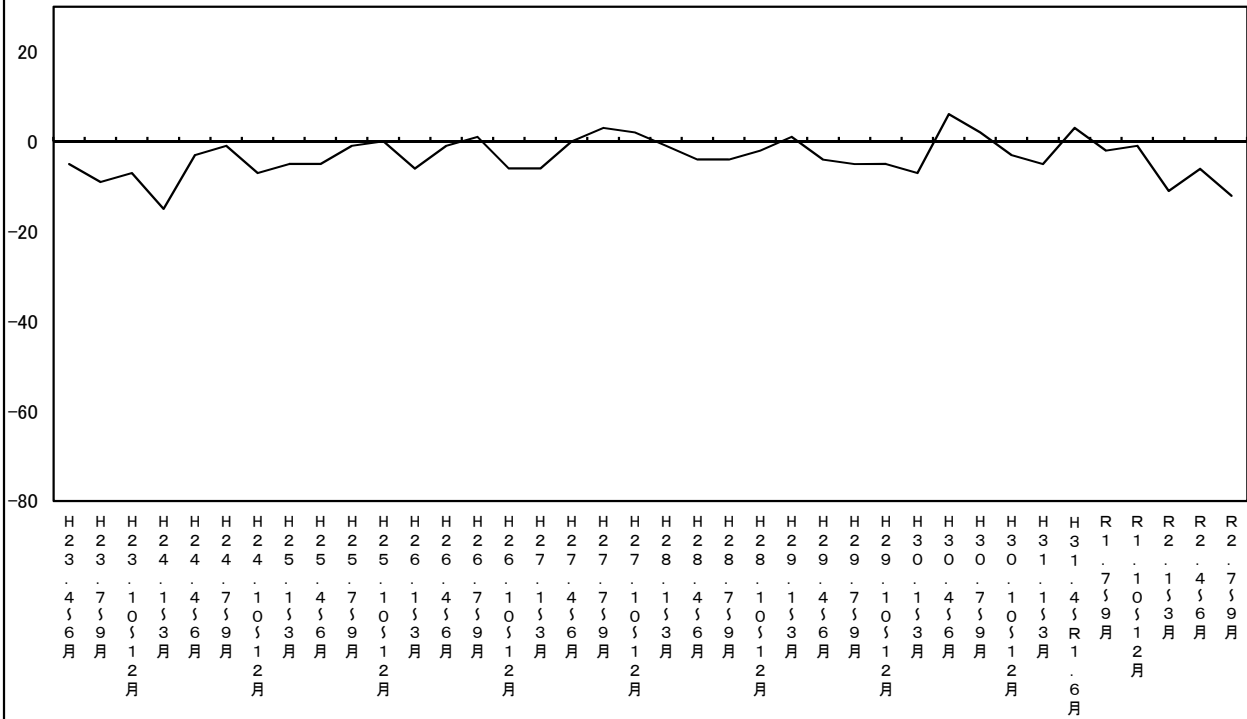
採 算 DI - 前年同期比 -



資金繰り DI - 前年同期比 -



従業員 DI - 前年同期比 -





一 宮 商 工 会 議 所
中 小 企 業 相 談 所

一宮市栄四丁目6番8号 (〒491-0858)

T E L (0586) 72-4611

F A X (0586) 72-4411

U R L <http://www.ichinomiya-cci.or.jp>

E-mail soudan@ichinomiya-cci.or.jp